



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 日鐵商事株式会社  
 コード番号 9810 URL <http://www.ns-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務法務部 担当部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 今久保 哲大  
 (氏名) 岩崎 文夫

TEL 03-6225-3500

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	825,097	3.5	8,430	△8.0	8,897	△3.0	5,167	△6.2
23年3月期第3四半期	797,328	17.3	9,164	57.9	9,172	83.2	5,508	52.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,164百万円 (△32.7%) 23年3月期第3四半期 4,705百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	38.21	—
23年3月期第3四半期	40.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	333,602	54,891	13.9
23年3月期	332,390	55,967	14.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 46,463百万円 23年3月期 48,159百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	5.00	7.00
24年3月期	—	3.00	—		
24年3月期(予想)				3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況につきましては、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,180,000	9.3	12,000	△3.9	12,000	△5.9	7,500	0.9	55.33

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	134,801,000 株	23年3月期	134,801,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	305,791 株	23年3月期	294,717 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	134,503,147 株	23年3月期3Q	134,562,087 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、TDnetで平成24年1月30日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

種類株式B	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	73.50	—	71.50	145.00
24年3月期	—	72.0355	—		
24年3月期(予想)				72.0355	144.071

(注) 1 種類株式B 1株当たりの優先配当金の金額につきましては、定款の定めにより、種類株式B 1株当たりの発行価額(10,000円/1株)に毎年3月31日(当日が銀行休業日の場合は前営業日)の全国銀行協会が発表する6ヶ月物の東京日本円銀行間金利申込利率(以下、「6ヶ月物円TIBOR」という。)に1パーセントを加えた利率を乗じた金額となっております。

なお、第2四半期末配当を行ったときは、1株当たり期末配当の金額は1株当たり第2四半期末配当の金額を控除した額となっております。

2 第2四半期末配当金の金額につきましては、種類株式B 1株当たりの発行価額の2分の1に9月30日(当日が銀行休業日の場合は前営業日)の6ヶ月物円TIBORに1パーセントを加えた利率を乗じた金額が上限となっております。

3 24年3月期(予想)の1株当たり配当金は、平成23年12月30日の利率を適用して算出しております。

4 種類株式Bの当第3四半期末発行済株式数は400,000株(23年3月期末発行済株式数は800,000株)であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済については、欧州諸国における財政問題の実体経済への波及などから、先進国のみならず、世界経済を牽引してきた新興国においても成長が鈍化しました。

我が国経済については、東日本大震災の影響からは比較的早期に回復したものの、円高の進行やタイの洪水影響などから、輸出環境は大きく悪化しました。

鉄鋼業界においては、国内需要は、3月の震災により製造業向けを中心に大きく落ち込んだ後、自動車の回復などから持ち直しましたが、前年同期から減少しました。輸出需要は、上記の輸出環境の悪化から、前年同期から大きく減少しました。これらの内外需の減少を受け、粗鋼生産は、前年同期比3.8%減の7,989万トンとなりました。

このような状況の下、当社グループの業績については、前年同期と比較し、売上高は、鋼材販売価格の上昇などから、277億円、3.5%の増収となる、8,250億円となりました。一方、営業利益は、子会社の減益などから、7億34百万円、8.0%の減益となる84億30百万円となり、経常利益は、2億74百万円、3.0%の減益となる88億97百万円となりました。四半期純利益は、過年度の有税処理損失の無税化効果の消失などから、3億40百万円、6.2%の減益となる51億67百万円となりました。

報告セグメントの業績（セグメント利益は経常利益ベースの数値）は次のとおりであります。

#### (鋼材)

国内鋼材については、震災影響があったものの、販売数量は前年同期並みとなり、原料価格上昇を背景に販売価格は上昇しました。この結果、単体の売上高は前年同期比増収となりましたが、子会社コイルセンターの合併による増収効果を除けば、国内子会社は総じて減収となりました。

海外鋼材については、中国向けは減少したものの、その他のアジア地域向けを中心に増加し、販売価格の上昇もあり、単体の売上高は前年同期比で増収となりました。海外子会社は、主に中国子会社における東日本大震災の影響などから減収となりました。

これらにより、鋼材セグメントの売上高は399億円、6.6%の増収となる6,444億円となりましたが、セグメント利益は6億49百万円、10.9%減益となる52億98百万円となりました。

#### (原燃料)

震災影響などによる内外需要産業の活動水準の低下に伴い、鉄鋼メーカーが減産したことから、半成品、ステンレス屑などの取扱いが減少し、単体の売上高は前年同期比で減収となりました。豪州における石炭権益を保有する子会社は生産減により減収となりました。

これらにより、原燃料セグメントの売上高は245億円、16.1%減収となる1,276億円となり、セグメント利益は76百万円、4.6%の減益となる15億97百万円となりました。

#### (機材・産業機械)

機材については、震災影響や新日鐵など国内メーカーの設備投資が伸び悩んだことから、単体および国内のクレーン製造販売子会社の売上高は前年同期並みとなりました。

産業機械については、主に第2四半期連結累計期間において、堅調なエネルギー関連投資を背景として、ロシア向け建設機械、機械部品やパイプライン用鋼材などの輸出が増加し、単体の売上高が大幅な増収となるとともに、建機関連事業を行うロシア子会社の売上高も上伸しました。

これらにより、機材・産業機械セグメントの売上高は123億円、30.3%の増収となる530億円、セグメント利益は4億51百万円、29.1%の増益となる19億99百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、在庫の減少があったものの、子会社の合併による売上債権や固定資産の増加により、前期末比12億円の増加となる3,336億円となりました。

負債合計は、短期借入金の減少があったものの、子会社合併による仕入債務の増加により、前期末比22億円の増加となる2,787億円となりました。

純資産合計は、当第3四半期連結累計期間での四半期純利益の計上があったものの、配当金支払や種類株式Bの一部取得・消却、保有株式等の時価下落および円高による為替換算差額の悪化により、前期末比10億円の減少となる548億円となりました。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,593	20,252
受取手形及び売掛金	225,331	229,321
リース債権及びリース投資資産	5,877	6,032
商品及び製品	31,500	28,349
その他	9,786	10,255
貸倒引当金	△698	△622
流動資産合計	293,390	293,589
固定資産		
有形固定資産	15,456	17,780
無形固定資産		
のれん	53	21
その他	1,997	1,617
無形固定資産合計	2,050	1,639
投資その他の資産		
その他	21,975	21,057
貸倒引当金	△482	△463
投資その他の資産合計	21,492	20,593
固定資産合計	38,999	40,013
資産合計	332,390	333,602

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	168,066	173,130
電子記録債務	4,320	8,024
短期借入金	62,906	59,520
貿易債権流動化債務	5,282	3,578
未払法人税等	3,690	1,508
引当金	1,016	524
その他	8,694	9,019
流動負債合計	253,977	255,306
固定負債		
長期借入金	15,000	15,000
貿易債権流動化債務	3,383	4,569
引当金	799	896
その他	3,263	2,939
固定負債合計	22,445	23,404
負債合計	276,423	278,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,750	8,750
資本剰余金	8,750	8,750
利益剰余金	33,846	33,851
自己株式	△68	△71
株主資本合計	51,277	51,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	411	△194
繰延ヘッジ損益	30	107
為替換算調整勘定	△3,559	△4,729
その他の包括利益累計額合計	△3,117	△4,816
少数株主持分	7,808	8,428
純資産合計	55,967	54,891
負債純資産合計	332,390	333,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	797,328	825,097
売上原価	762,270	790,424
売上総利益	35,058	34,673
販売費及び一般管理費	25,894	26,242
営業利益	9,164	8,430
営業外収益		
受取利息	257	224
受取配当金	109	116
為替差益	—	181
持分法による投資利益	459	476
その他	360	565
営業外収益合計	1,186	1,564
営業外費用		
支払利息	902	899
為替差損	24	—
その他	252	198
営業外費用合計	1,178	1,097
経常利益	9,172	8,897
特別利益		
負ののれん発生益	—	64
投資有価証券売却益	26	—
特別利益合計	26	64
特別損失		
投資有価証券評価損	2	244
減損損失	29	77
事業整理損	380	—
固定資産売却損	95	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53	—
投資有価証券売却損	22	—
ゴルフ会員権評価損	2	—
特別損失合計	585	321
税金等調整前四半期純利益	8,612	8,640
法人税等	2,871	3,366
少数株主損益調整前四半期純利益	5,740	5,274
少数株主利益	232	106
四半期純利益	5,508	5,167



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,740	5,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	△599
繰延ヘッジ損益	51	76
為替換算調整勘定	△761	△1,370
持分法適用会社に対する持分相当額	△173	△216
その他の包括利益合計	△1,035	△2,110
四半期包括利益	4,705	3,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,590	3,468
少数株主に係る四半期包括利益	114	△304

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼材	原燃料	機材・ 産業機械	計		
売上高						
外部顧客への売上高	604,458	152,133	40,736	797,328	—	797,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	—	0	6	△6	—
計	604,464	152,133	40,737	797,335	△6	797,328
セグメント利益	5,948	1,673	1,548	9,170	1	9,172

(注) 1 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼材	原燃料	機材・ 産業機械	計		
売上高						
外部顧客への売上高	644,422	127,612	53,063	825,097	—	825,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	1	7	△7	—
計	644,428	127,612	53,064	825,105	△7	825,097
セグメント利益	5,298	1,597	1,999	8,895	1	8,897

(注) 1 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月30日付で自己株式（種類株式B）400千株を4,000百万円で取得し、同日これを全株消却いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が4,000百万円減少しております。

なお、利益剰余金の当第3四半期連結累計期間の変動内容（要約）は以下のとおりであります。

	利益剰余金
平成23年3月31日 残高 (百万円)	33,846
当第3四半期連結累計期間中の変動額	
剰余金の配当	△1,162
四半期純利益	5,167
自己株式の消却	△4,000
当第3四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)	5
平成23年12月31日 残高 (百万円)	33,851